

過疎地域における地域商店活性化のための共同商店事業

概要

人口2000人弱、高齢化比率が約50%の上勝町では、他の地域の例にもれず、高齢化、過疎化による買い物弱者の問題が起こっている。現在は町内に商店が15ほどあるが、店主自体も高齢化が進み、後継者がいないなどの問題が起こっている。このままでは今後数十年間の間に町内の商店が激減するという事態が容易に想像でき、地域商店の活性化は急務である。本事業では、他地域の例を参考に、①共同商店の実証実験②上勝町らしい商店作りによる地域経済の活性化を行った。

事業の内容

事業の内容

地域商店と協力しながら、上勝町のゼロ・ウェイストというブランドを活かした上勝百貨店を運営し、地域特産品の販売、独自商品の開発を行った。

総事業費

10.1百万円

ポイント

上勝町には約15の商店が存在するが、深刻な過疎化、店主の高齢化に伴い、ほとんどの商店が閉店を検討しなければならないような経営状況に陥ってしまっている。町内で満足できる買い物ができる商店がなくなるということは、地域コミュニティの存続にとっても大きな問題であり、それは上勝町自体の存続が危ぶまれることと同義である。本事業では、その課題に対して、単なる共同商店という形をとるだけでなく、上勝町らしい店作り、ゼロ・ウェイストを全面に出したブランディングをすることで、町内だけでなく、町外からのお客様もターゲットとし、経済性を担保し地域経済の活性化に貢献している。

事業の成果

- ・地域内商店との共同出品コーナーを設けて運営
- ・地域特産品(ピクルス)の開発
- ・上勝町だからこその商店作りにより、町内外からの顧客獲得

地域内はもちろん、地域外の顧客に対しても魅力ある店づくりをすることで経済性を担保し、地域経済の活性化に繋がった。

徳島県上勝町



ゼロ・ウェイストによる店舗のブランド化



地域商店と共同して運営する共同商店コーナー



商品を載せて移動販売